



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月7日

上場会社名 株式会社グリーンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 6547 URL <https://www.kk-greens.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村木 雄哉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 浩也 TEL 059(351)5593
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の連結業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年6月期第3四半期 | 21,016 | △8.9 | △392 | — | △349 | — | △469 | — |
| 2019年6月期第3四半期 | 23,057 | 14.7 | 1,852 | 26.5 | 1,844 | 29.3 | 1,204 | 28.8 |

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 △473百万円 (—%) 2019年6月期第3四半期 1,203百万円 (27.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年6月期第3四半期 | △36.47 | — |
| 2019年6月期第3四半期 | 93.64 | — |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年6月期第3四半期 | 17,143 | 9,865 | 57.5 |
| 2019年6月期 | 18,906 | 10,642 | 56.3 |

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 9,865百万円 2019年6月期 10,642百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年6月期 | — | 0.00 | — | 23.00 | 23.00 |
| 2020年6月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2020年6月期（予想） | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日(2020年5月7日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年6月期の連結業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|---|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

新型コロナウイルス感染症(COVID19)の世界的感染状況の推移やそれに伴う行政府の対応、終息の目途等、見通しは不透明であり、業績予想の算定が困難であることから、当社では2020年6月期の通期連結業績予想につきまして、2020年4月13日に公表した「2020年6月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり業績予想を未定といたしました。

なお業績予想に関しましては、今後の動向を注視し、算定及び公表が可能となった段階で改めて公表させていただきます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年6月期3Q | 12,886,200株 | 2019年6月期 | 12,886,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年6月期3Q | 9,742株 | 2019年6月期 | 4,342株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年6月期3Q | 12,878,155株 | 2019年6月期3Q | 12,866,730株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (四半期連結損益計算書関係) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (重要な後発事象) | 7 |
| 3. 補足情報 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2019年7月1日から2020年3月31日まで）における我が国経済は、雇用情勢の改善や各種政策の下支えによる緩やかな回復傾向で推移するものの、米中間の貿易摩擦や中国経済の減速の影響で、世界経済の減速懸念が広がる不透明な状況が続きました。更に2020年1月以降は新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界各国で経済活動が制限され、渡航制限が相次いで発令されるなど世界経済は急減速し、先行きの見通せない厳しい状況が続いております。

ホテル業界におきましては、観光庁が2020年2月28日に公表している2019年の年間宿泊旅行統計調査（年間の速報値）では、年間の延べ宿泊者数は50,902万人泊で前年比0.1%の減少と全体としてはほぼ前年並みに留まるものの同調査における外国人延べ宿泊者数は、8,859万人泊で前年比11.2%の増加となっております。しかしながら2020年1月以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、日本政府観光局が2020年4月15日に公表している最新の訪日外客数（2020年3月推計値）によると、多くの国において海外渡航制限や外出禁止等の措置が取られたこと、また日本においても検疫強化や査証の無効化等の措置が取られたこと等が影響し、2020年3月推計値は前年同月から256万人下回る前年同月比93.0%減の19万4千人となっております。

このような経済状況の下で、当社グループにおいて宿泊特化型のビジネスホテルを展開するチョイスホテルズ事業では、2018年9月以降に開業したコンフォートホテル宮崎（宮崎県宮崎市）、コンフォートホテル神戸三宮（兵庫県神戸市中央区）、コンフォートホテル高知（高知県高知市）、コンフォートホテル新大阪（大阪府大阪市）、コンフォートホテル名古屋新幹線口（愛知県名古屋市）に加え、リブランドを実施したコンフォートイン甲府（山梨県甲府市）、コンフォートイン鹿島（茨城県神栖市）の当第3四半期連結累計期間における売上高に貢献がありました。しかしながら2019年夏頃からは、外国人宿泊需要の伸び率の鈍化や日本人延べ宿泊者数の減少、2019年9月、10月の週末を中心に相次いだ台風の影響、また東京、大阪、名古屋などの大都市マーケットの一時的な需給バランスの崩れ等により、客室稼働、客室単価は当初想定を下回る水準で推移してきたことに加え、2020年1月以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けました。訪日外国人の急減、2020年2月26日以降の「新型コロナウイルス感染症対策本部」からの自粛要請によるテーマパークの休園や企業による出張自粛、個人の外出の取りやめ等が相次ぐ等、国内の宿泊需要は急速且つ大きく減少した結果、当事業の売上高は前年同期比7.9%減の15,937百万円となり、客室稼働率は前年同期比8.8%減の76.5%、客室単価は前年同期比0.9%減の7,358円となりました。

一方、地域特性に合わせて宴会場等を併設したシティホテルを中心に展開するグリーンズホテルズ事業では、特に三重県内における大型商業施設建設や製造業の設備工事等、ビジネス需要が一旦落ち着き、また昨年三重県で開催されたインターハイに代わる新たな需要や北陸地方におけるイベント需要等が少なかったこと等の影響に加え、7月から12月にかけては一部の店舗において設備不良に伴う一定期間の販売不能客室が発生いたしました。またチョイスホテルズ事業と同様に宿泊需要の減少や台風の影響を受け、客室稼働、客室単価が当初の想定を下回る水準で推移するなか、2020年1月以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による企業の出張抑制、個人の外出の取りやめ等の影響を受け、当該事業展開地域における宿泊需要、会合の自粛による会議・宴会の利用が減少した結果、売上高は前年同期比12.0%減の4,935百万円となり、客室稼働率は前年同期比10.6%減の70.3%、客室単価は前年同期比5.1%減の5,689円となりました。

なお当社グループ全体の客室稼働率は前年同期比9.3%減の75.0%、客室単価は前年同期比1.7%減の6,961円となり、当第3四半期末時点でのホテル軒数は94店舗、客室数はチョイスホテルズ事業10,133室、グリーンズホテルズ事業3,391室の合計13,524室となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高21,016百万円（前年同期比8.9%減）、営業損失392百万円（前年同期は営業利益1,852百万円）、経常損失349百万円（前年同期は経常利益1,844百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失469百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,204百万円）となりました。

（注）文中記載の客室稼働率ならびに客室単価は、当第3四半期累計期間における数値となります。月別の数値に関しましては当社ホームページに掲載しております。

株式会社グリーンズ <https://www.kk-greens.jp/>

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、17,143百万円（前連結会計年度末18,906百万円）と、1,762百万円減少いたしました。

うち流動資産は、5,878百万円（同8,079百万円）と、2,201百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、11,265百万円（同10,826百万円）と438百万円増加いたしました。これは、主に建物及び構築物の増加によるものであります。

負債につきましては、7,278百万円(同8,263百万円)と985百万円減少いたしました。

うち流動負債は、3,308百万円(同4,263百万円)と955百万円減少いたしました。これは主に買掛金及び未払法人税等の減少によるものであります。

固定負債は、3,969百万円(同3,999百万円)と30百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

純資産につきましては、9,865百万円(同10,642百万円)と、777百万円減少いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものであります。この結果、自己資本比率は57.5%(前連結会計年度末比1.2%増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年4月13日の「2020年6月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、通期の連結業績予想は未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,665,286 | 3,766,246 |
| 売掛金 | 1,349,093 | 735,036 |
| 原材料及び貯蔵品 | 109,536 | 100,903 |
| 未収還付法人税等 | — | 286,007 |
| 未収消費税等 | — | 86,717 |
| その他 | 959,108 | 904,031 |
| 貸倒引当金 | △3,446 | △670 |
| 流動資産合計 | 8,079,579 | 5,878,271 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,176,586 | 2,499,067 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 401,417 | 390,476 |
| 土地 | 2,112,031 | 2,245,265 |
| リース資産（純額） | 129,913 | 122,823 |
| 建設仮勘定 | 977,760 | 412 |
| 有形固定資産合計 | 4,797,709 | 5,258,045 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 331,062 | 244,409 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 50,761 | 47,564 |
| 長期貸付金 | 45,130 | 38,654 |
| 差入保証金 | 5,321,286 | 5,393,870 |
| その他 | 338,821 | 341,122 |
| 貸倒引当金 | △58,000 | △58,000 |
| 投資その他の資産合計 | 5,697,999 | 5,763,211 |
| 固定資産合計 | 10,826,771 | 11,265,665 |
| 資産合計 | 18,906,351 | 17,143,937 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2019年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,044,166 | 779,318 |
| 短期借入金 | 120,000 | 120,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 681,618 | 731,628 |
| 未払金 | 785,179 | 628,262 |
| 未払費用 | 649,654 | 544,159 |
| 未払法人税等 | 480,398 | 887 |
| 未払消費税等 | 176,402 | 10,454 |
| 賞与引当金 | — | 194,314 |
| その他 | 326,355 | 299,540 |
| 流動負債合計 | 4,263,774 | 3,308,564 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,310,483 | 3,236,760 |
| 資産除去債務 | 500,461 | 554,100 |
| その他 | 188,679 | 178,693 |
| 固定負債合計 | 3,999,624 | 3,969,553 |
| 負債合計 | 8,263,398 | 7,278,118 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,948,025 | 1,948,025 |
| 資本剰余金 | 1,948,025 | 1,948,015 |
| 利益剰余金 | 6,750,934 | 5,984,977 |
| 自己株式 | △67 | △7,120 |
| 株主資本合計 | 10,646,918 | 9,873,899 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △3,966 | △8,080 |
| その他の包括利益累計額合計 | △3,966 | △8,080 |
| 純資産合計 | 10,642,952 | 9,865,818 |
| 負債純資産合計 | 18,906,351 | 17,143,937 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 23,057,993 | 21,016,494 |
| 売上原価 | 17,149,756 | 17,195,034 |
| 売上総利益 | 5,908,237 | 3,821,460 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,055,478 | 4,213,571 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 1,852,758 | △392,110 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 831 | 679 |
| 違約金収入 | 3,165 | 22,688 |
| その他 | 25,650 | 31,581 |
| 営業外収益合計 | 29,646 | 54,950 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 28,472 | 9,781 |
| その他 | 9,134 | 2,217 |
| 営業外費用合計 | 37,606 | 11,998 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 1,844,799 | △349,159 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 18,509 | 6,929 |
| 減損損失 | 9,793 | 63,093 |
| 特別損失合計 | 28,303 | 70,023 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 1,816,496 | △419,182 |
| 法人税等 | 611,646 | 50,491 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,204,850 | △469,674 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 1,204,850 | △469,674 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,204,850 | △469,674 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △5,614 | △4,113 |
| 繰延ヘッジ損益 | 3,978 | — |
| その他の包括利益合計 | △1,636 | △4,113 |
| 四半期包括利益 | 1,203,213 | △473,788 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,203,213 | △473,788 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

減損損失の内容は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

重要性が乏しいため、省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

| 用途 | 場所 | 種類 | 金額(千円) |
|-------|---------|-----------|--------|
| 事業用資産 | 三重県四日市市 | 建物及び構築物 | 60,893 |
| | | 工具、器具及び備品 | 2,200 |
| 計 | | | 63,093 |

当社グループは、資産を用途により事業用資産、貸貸用資産及び遊休資産に分類しております。

また、事業用資産については、管理会計の単位、貸貸用資産及び遊休資産については、個別物件単位に基づきグルーピングをしております。

その結果、上記の事業用資産は、営業終了の意思決定を行ったため、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額63,093千円を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該資産の回収可能価額は、使用価値により測定しておりますが、将来キャッシュ・フローがマイナスであるため、零として算定しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う影響)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2020年4月7日に日本政府より発出された緊急事態宣言により、当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があります。影響額については、提出日現在では算定することが困難であります。

(多額な資金の借入)

当社は新型コロナウイルス感染症による影響に備えるため、2020年4月13日開催の取締役会において資金の借入を行うことを決議し、下記のとおり借入を実行しました。

- (1) 契約形態 当座貸越契約
- (2) 借入の用途 運転資金
- (3) 借入先 株式会社三菱UFJ銀行他4行
- (4) 借入金額 5,000,000千円
- (5) 借入条件 変動金利
- (6) 借入実行日 2020年4月30日
- (7) 返済期限 2020年5月29日(当座貸越の設定期間は最長2021年4月13日まで)
- (8) 担保等の有無 無

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注実績

該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績は次のとおりであります。なお、当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、事業部門別に記載しております。

| 事業部門の名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日) | 前年同期比 (%) |
|------------------|---|-----------|
| チョイスホテルズ事業 (千円) | 15,937,693 | 92.1 |
| グリーンズホテルズ事業 (千円) | 4,935,298 | 88.0 |
| その他の事業 (千円) | 143,502 | 100.9 |
| 合 計 (千円) | 21,016,494 | 91.1 |

- (注) 1. 事業部門間の取引については相殺消去しております。
 2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当該割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。